

5-FU+CDDP(FP)療法 (RTなし)

【対象症例】

転移・再発を認める食道癌
術前食道癌

【登録診療科】

外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①(主管)	ラクテック	500mL	8時間	day1
②(主管)	ラクテック	500mL	1時間	day1
③(主管)	ラクテック	500mL	1時間	
内服①	アプレピタント	125mg	化学療法施行 60～90分前内服	day1
④(主管)	生理食塩水	100mL	30分	day1
	パロノセトロン	0.75mg		
	デキサメタゾン	6.6mg		
⑤(主管)	フルオロウラシル	800mg/m ² /日	24時間	day1、day2、day3、day4、day5
	KN1号	500mL		
	生理食塩水	50mL	フラッシュ	フルオロウラシル終わり次第
①(側管)	フロセミド注	20mg	30分	day1
	生理食塩水	50mL		
②(側管)	シスプラチン	80mg/m ²	2時間	day1
	生理食塩水	500mL		
③(側管)	ラクテック	500mL	1時間	day1
④(側管)	ラクテック	500mL	1時間	day1
④(側管)の30分後 ⑤(側管)	フロセミド注	20mg	30分	day1
	生理食塩水	50mL		
⑥(側管)	ラクテック	500mL	8時間	day1
⑦(側管)	ラクテック	500mL	8時間	day1
内服②	アプレピタント	80mg	朝食後	day2、day3
内服③	デキサメタゾン	8mg	朝、昼食後	day2、day3、day4
【投与スケジュール】 1コース 28日間				

5-FU+CDDP(FP)療法 (RTなし)

【対象症例】

転移・再発を認める食道癌
術前食道癌

【登録診療科】

外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①(主管)	ラクテック	500mL	8時間	day1
②(主管)	ラクテック	500mL	1時間	day1
③(主管)	ラクテック	500mL	1時間	
内服①	アプレピタント	125mg	化学療法施行 60～90分前内服	day1
④(主管)	生理食塩水	100mL	30分	day1
	パロノセトロン	0.75mg		
	デキサメタゾン	6.6mg		
⑤(主管)	フルオロウラシル	800mg/㎡/日	24時間	day1、day2、day3、day4、day5
	KN1号	500mL		
	生理食塩水	50mL	フラッシュ	フルオロウラシル終わり次第
①(側管)	フロセミド注	20mg	30分	day1
	生理食塩水	50mL		
②(側管)	シスプラチン	80mg/㎡	2時間	day1
	生理食塩水	500mL		
③(側管)	ラクテック	500mL	1時間	day1
④(側管)	ラクテック	500mL	1時間	day1
④(側管)の30分後 ⑤(側管)	フロセミド注	20mg	30分	day1
	生理食塩水	50mL		
⑥(側管)	ラクテック	500mL	8時間	day1
⑦(側管)	ラクテック	500mL	8時間	day1
内服②	アプレピタント	80mg	朝食後	day2、day3
内服③	デキサメタゾン	8mg	朝、昼食後	day2、day3、day4

【投与スケジュール】 1クール 28日間

【禁忌】(必ず確認してください)

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・アガブール・キメフシル・オアプシルカリウム配合剤投与中の患者
及び投与中止後7日以内の患者
- ・重篤な腎障害のある患者
- ・本剤又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【休薬・中止規定】

- ・フルオロウラシル
T-Bilが5.0mg/dL以上の場合
- ・シスプラチン
クレアチニン2.0mg/dLまたはCcr40mL/min未満

【減量基準】

- ・シスプラチン
クレアチニン1.3mg/dL以上またはCcr60mL/min未満で50%減量(JCOG9516試験より)
注)実臨床ではCcr60mL/min未満では腎機能や状態を考慮し、20～50%の減量が行われることがある

【注意事項】

- ・心疾患が疑われる場合、胸水、腹水がある場合には、過剰な水分負荷にならないように注意する
- ・投与前にかかわらずCcrを計算する
- ・シスプラチンは遮光保存する
- ・糖尿病やB型肝炎ウイルスキャリアの場合、制吐目的で使用するデキサメタゾンの投与量について検討する
- ・シスプラチン総投与量では300mg/㎡を超えると高音域の聴力低下・難聴、耳鳴等傾向は顕著となるので十分な観察を行う

【患者の緊急受診(連絡)事項】

- ・38℃以上の発熱
- ・食欲不振が長く続くとき

2017年10月5日 作成

・1日3～4回の下痢

・身の回りのことができない程の倦怠感

・長く続く空咳とひどい息切れ

・急な嘔気・嘔吐

【緊急時連絡先】イムス三芳総合病院(夜間:緊急連絡先、日中:外科外来)

GradeはCTCAE v 4.0に準ずる

プロトコル開始年月日

2017年10月05日

プロトコル責任者

外科 岡本 史樹